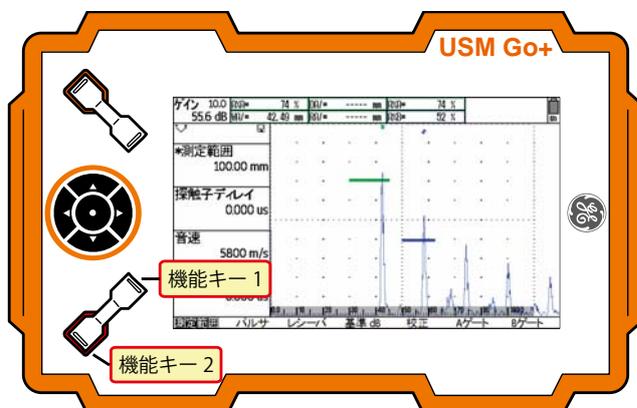


USM Go+ 機能キーの概要 (キー割り当ては必須です)



USMGo+は携帯型の探傷器で操作はゲインキー、操作キー、機能キーの3箇所のみです。このため機能キーにフリーズやdBステップなどの機能割り当てが必要になります。

必要になる機能を自分で決定し、左図左下の機能キー1,2 に設定モードで機能割り当てを行います。

機能キー1、2 には以下の11種類の機能から選択して割り当てが可能です

なし	AGC 80%	操作方向
フリーズ	拡大ゲート	BEA ゲイン
JOYSTICK ロック	dB ステップ	ホーム
COPY	データセット呼出し	

USM Go+ データ保存・呼出し・削除の機能の概要

データの保存には以下の4種類があります。

探傷条件保存	探傷器の設定条件(データセット)を保存
BMP レポート保存	画面と設定条件を BMP 画像で保存 (USMGo+で表示可)
JPG レポート保存	画面と設定条件を JPG 画像で保存
波形記録	探傷波形の挙動を動画記録します

データの呼び出しには以下の2種類があります。

探傷条件呼出し	保存された USM Go+の設定を呼出し変更
レポート呼出し	保存された BMP レポートを USMGo+の画面に表示

データの削除には以下の種類があります。

探傷条件削除	保存された探傷条件で、不要になった探傷条件を削除
--------	--------------------------

各詳細は次ページ以降に記述しますが、省略した手順表示ですので、必ず弊社「全構協殿実技試験向け設定手順書」等を一度先にお読みください。

機能キーの割当方法

前述のように、USMGo+はキーの数が少ないため、必ず機能キーの割当が必要となります。少なくとも dB ステップは割当てておかないと使いづらいと思われます。

機能キー-1 dB ステップ 探傷条件呼出し	Gモード ゲートロジック 正	設定2 校正警告設定 オフ	パルサ パルスタイプ スパイク
機能キー-2 フリーズ COPY(実行)	ゲートロジック オフ	校正時間リセット	PRFモード 自動-低 268 Hz
Ver表示 表示	Bスタートモード IP	ユーザーdB設定 10.0dB	残留エコー機能 オフ
波形強調 オフ	出力選択 A (-)	dB ステップ 6.0	

操作キー 中央を押して設定モード画面を表示。
 キーで設定 2 を選択
 キーで機能キー-1 を選択
 で上段を dB ステップに設定
 で下段を探傷条件呼出しに設定

操作キー中央クリックで機能キー-1 の機能割当を終了し、同様にして機能キー-2 の機能割当を行います。(上記の割当てはあくまでも一例です。アプリケーションによって割当を決定します)

機能キーの使用方法

左図のようにカーソルがメニューバーにある状態の時に、機能キー-1,2 をクリックするか長押しすると割当てた機能が作動します。

カーソルが機能を選択している状態では機能キー は設定値の変更のためのキーとしてのみ作動します

機能キー-1 の上段の機能 (dB ステップ) は をクリックした時に作動します

機能キー-1 の下段の機能(探傷条件呼出し)は を長押しした時に作動します

機能キー-2 の上段の機能 (フリーズ) は をクリックした時に作動します

機能キー-2 の下段の機能(COPY(実行))は を長押しした時に作動します

探傷条件の保存・呼出しでは機能キー割当も一緒に保存されます。割当なしの探傷条件を呼び出すと機能キーは動作しません。この場合には割当を行ってから探傷条件保存 (上書き) します。

データ保存・呼出し・削除の機能の詳細

データの保存には以下の4種類があります。

1. 探傷条件保存

メモ/ヘッダー	ファイル名	レポート	波形録画
ヘッダー編集 <NEW HEADER>	ファイル名 5Z10X10A70DAC	Aスキャン画像 あり	ソース/保存先 内部メモリ
メモ編集 <NEW MEMO>	実行内容 探傷条件保存	設定値 なし	ファイル名 ABCCD
メモ付加 なし	実行	機器設定一覧 表示	モード 再生
レポートヘッダー なし	ディレクトリ USMGO		実行

ファイル 評価設定 JIS DAC 設定1 設定2 設定3

USMGo+の現在の設定状態の保存です。設定モードメニューでのみ保存できます

実行内容を選択して設定値を探傷条件保存にし、ファイル名を選択してファイル名を入力し、実行を選択し、操作キー中央をクリックして保存。

2. BMP レポート保存

メモ/ヘッダー	ファイル名	レポート	波形録画
ヘッダー編集 <NEW HEADER>	ファイル名 BMP DATA	Aスキャン画像 あり	ソース/保存先 内部メモリ
メモ編集 <NEW MEMO>	実行内容 BMPレポート保存	設定値 なし	ファイル名 ABCCD
メモ付加 なし	実行	機器設定一覧 表示	モード 再生
レポートヘッダー なし	ディレクトリ USMGO		実行

ファイル 評価設定 JIS DAC 設定1 設定2 設定3

画面と設定条件を BMP 画像で保存します。設定モードメニューで左図のように設定します。(ファイル名は任意。また特別な場合で無い限り、レポートヘッダー・メモ付加はなしを選択し、Aスキャン画像はありを選択します)

この機能は機能キーに COPY(実行)を割り付けて使用します。

機能キーで実行すると BMP 画像が SD カード内に保存されます。連続する場合にはファイル名は連番で作成されます。約 206KB/1 画面のファイル容量となりますが非圧縮画像であり、ノイズが無いことと USMGo+の画面上でも記録した画像を確認できることが利点です。

アンカーボルト長さ測定結果の保存などのアプリケーションに向いています。

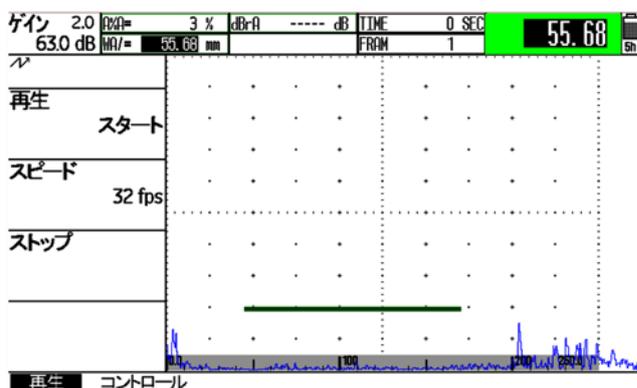
3. JPG レポート保存

BMP レポートと同じ機能・動作ですが USMGo+上では結果確認できません。

4. 動画記録

メモ/ヘッダー	ファイル名	レポート	波形録画
ヘッダー編集	ファイル名	Aスキャン画像	ソース/保存先
<NEW HEADER>	BMP DATA	あり	内部メモリ
メモ編集	実行内容	設定値	ファイル名
<NEW MEMO>	BMPレポート保存	なし	ABCCD
メモ付加	実行	機器設定一覧	モード
なし		表示	再生
レポートヘッダー	ディレクトリ		実行
なし	USMGO		

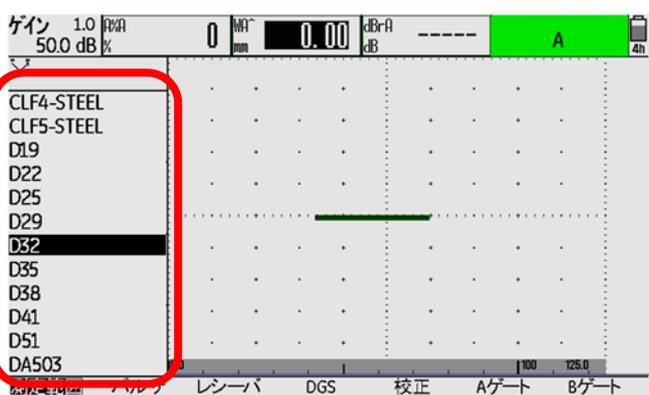
波形の動きをビデオ保存します
画面そのもののビデオ記録ではありません。DMSG0+上で内容の再生が可能です。(左図)
詳細は取扱説明書をご参照ください。
PC 上で表示する場合には PC 用ソフトをダウンロードする必要があります。



データの呼び出しには以下の2種類があります。

1. 探傷条件呼出し

メモ/ヘッダー	ファイル名	レポート	波形録画
ヘッダー編集	ファイル名	スキャン画像	ソース/保存先
<NEW HEADER>	5Z10X10A70DAC	あり	内部メモリ
メモ編集	実行内容	設定値	ファイル名
<NEW MEMO>	探傷条件呼出し	なし	ABCCD
メモ付加	実行	機器設定一覧	モード
なし		表示	再生
レポートヘッダー	ディレクトリ		実行
なし	USMGO		



既に保存されている USMGo+の設定を呼出します

設定モードメニューでファイルを選択して探傷条件呼出しを実行します。

鉄筋ガス圧接部の探傷などのように頻繁に探傷条件を呼び出して変更する場合には機能キーに割り当てて探傷モードで操作することも可能です。

呼出し後は画面がフリーズしていますので解除する必要があります



どちらかをクリックすると

画面のフリーズが解除されます

2. レポート呼出し

メモ/ヘッダー	ファイル名	レポート	波形録画
ヘッダー編集	ファイル名	スキャン画像	ソース/保存先
<NEW HEADER>	BMP DATA	あり	内部メモリ
メモ編集	実行内容	設定値	ファイル名
<NEW MEMO>	レポート呼出し	なし	ABCCD
メモ付加	実行	機器設定一覧	モード
なし		表示	再生
レポートヘッダー	ディレクトリ		実行
なし	USMGO		

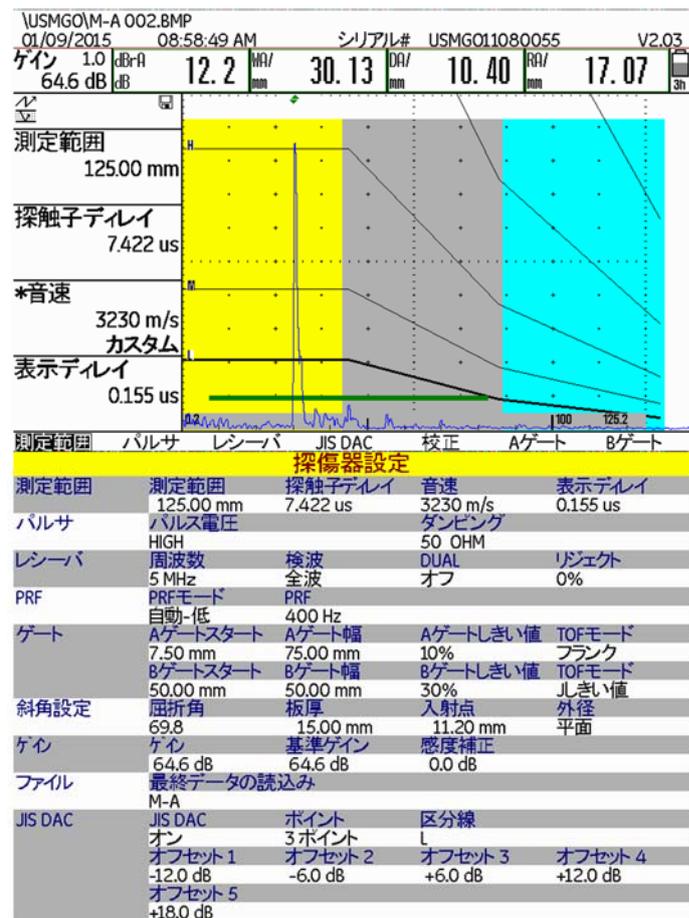
保存された BMP レポートを確認のため表示

実行内容をレポート呼出しにしてファイル名を選択してから、実行を選

択して操作キー  中央をクリッ

クすると USMGo+の画面に BMP レポートが表示されます。

レポート呼出し例



BMP レポート例

操作キー  で上下スクロール可能

左図例では設定値ありの場合です

設定値なしの場合は探傷器設定以下の画像がカットされ、探傷器表示部の記録となります。

データの削除は以下の手順です

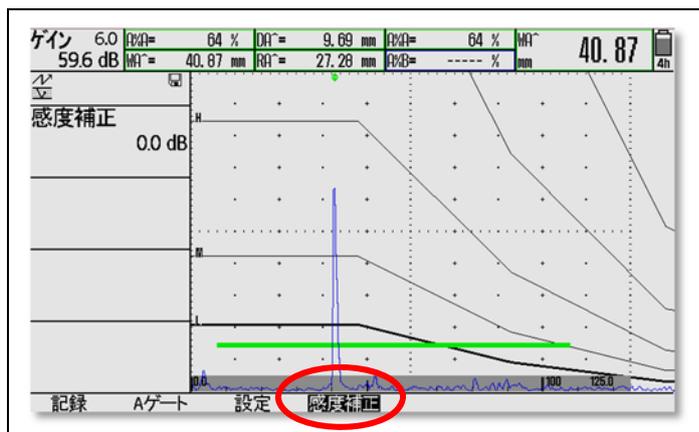
探傷条件削除

実行内容を探傷条件削除にしてファイル名を選択してから実行を選択し、 操作キー中央をクリックすることで削除されます

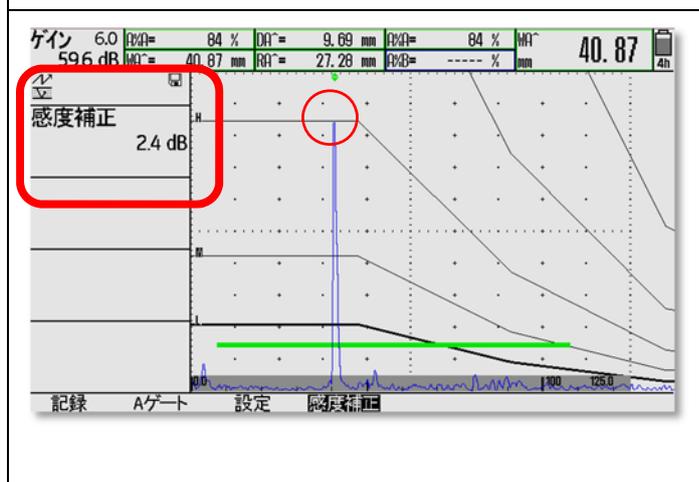
STB-A3(4 × 4)での感度微調整

DAC 線を上下させずに、探傷感度のみ微調整する手順

	<p>作業前校正で探傷感度を微調整したい場合があります</p> <p>左図の例だと約 3dB 感度が足りません</p>
	<p>操作キー で JISDAC を選択</p>
	<p>操作キー で JISDAC 機能に入る</p>



で感度補正メニューを選択



キーで感度補正機能を選択

し



操作キー もしくは機能キー



で感度補正を 2.4dB にして H 線

にエコーをあわせる

DAC 線は移動せずに感度のみ微調整
できます